



市民等の迅速的確な救命処置により、尊い命が救われました。

～ 南消防署長から感謝状を贈呈します～

南区で発生した2件の救命事案で心肺停止状態となつた方に対し、その場に居合わせた市民等が連携して救命処置を行い、尊い命が救われました。

その迅速かつ的確な勇気ある行動に対し、南消防署長から感謝状を贈呈します。

1 日時

令和5年1月30日（月）午前11時00分から11時30分まで

2 場所

南区役所 1階 多目的ホール
(横浜市南区浦舟町2丁目33番)

※ 京浜急行 黄金町駅より徒歩10分
市営地下鉄 阪東橋駅より徒歩6分

3 被贈呈者

(1) 救命事案1

ア 榎本 孝司 様 (119番通報・傷病者観察・胸骨圧迫)
イ 高橋 正明 様 (胸骨圧迫・AED操作)
ウ 後藤 りさ 様 (胸骨圧迫)

(2) 救命事案2

ア 藤吉 早織 様 (傷病者保護・安全な位置へ移動)
イ 安藤 仁 様 (安全な位置へ移動・駅員へ119番通報指示・AED手配)
ウ 京浜急行電鉄株式会社 黄金町駅
(ア) 助役 岩瀬 英雄 様 (119番通報)
(イ) 駅員 山崎 孝之 様 (AED手配)

4 功績概要

(1) 救命事案1

令和4年11月1日（火）午前10時20分頃、榎本氏は、歩行中の高齢男性（傷病者）が前方に転倒したため、呼び掛けましたが、反応がなかったため119番通報を行いました。その場を通りかかった南消防団の高橋氏は異変を感じ、近寄ると榎本氏が胸骨圧迫を行っていたため、高橋氏が交代し、他の協力者が近くにあるクリニックからAEDを借用してきました。高橋氏は、AEDによる電気ショックを実施し、看護師の後藤氏が途中から胸骨圧迫を継続、その後到着した消防隊及び救急隊に活動を引き継ぎました。

なお、傷病者は医療機関に搬送された後に回復し、既に退院しています。

(2) 救命事案2

令和4年11月6日（日）午前7時32分頃、京浜急行黄金町駅ホームで、高齢女性（傷病者）が、急に具合が悪くなり倒れそうになったところを近くにいた藤吉氏が声を掛け、ホーム下への転落危険もあったため傷病者を抱きかかえました。その様子に気が付いた出勤途上の廣中氏※は、傷病者を仰向けにして観察を実施したところ、心肺停止状態と判断しました。その場に居合わせた安藤氏も支援に加わり、ホーム中央の安全な位置へ三人で傷病者を移動させました。その後、廣中氏が胸骨圧迫を開始し、安藤氏が改札口に居た駅員岩瀬氏にAEDの搬送及び119番通報を依頼しました。岩瀬氏が119番通報を行い、駅員山崎氏がAEDを現場まで搬送し、AEDによる電気ショックを2回実施後、到着した救急隊及び消防隊に現場活動を引き継ぎました。

なお、傷病者は医療機関に搬送された後に回復し、既に退院しています。

※廣中氏は、南消防署職員のため、この度の被贈呈者には含んでいません。

5 取材について

感謝状贈呈式の取材を希望される場合は、前日の午後5時までに下記のお問合せ先までご連絡をいただきますようお願いします。当日は、表彰開始10分前までに直接会場へお越しください。

※お越しの際には公共交通機関等をご利用されるか、近隣の有料駐車場をご利用ください。



お問合せ先

消防局南消防署警防課長 岩永 正己 Tel 045-253-0119